

テクニカルニュース

96年 9月 17日

表 題 Q4ARCPU ユーザーズマニュアル（詳細編）の追加説明のお知らせ

適用機種 Q4ARCPU

平素は、三菱汎用シーケンサ MELSEC-QnA シリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

既に発売いたしております Q4ARCPU のユーザーズマニュアル（詳細編）に、追加する項目がございましたので、内容をご連絡いたします。

1.対象マニュアル

Q4ARCPU ユーザーズマニュアル（詳細編） , SH-3583-A

2.追加項目

(1)二重化システム用命令のデータトラッキング命令(S.TRUCK)で使用するパラメータブロックは、命令を実行する前に Q4ARCPU に格納しておく必要があります。

このパラメータブロックは、次のように作成ください。

①データは、SW0IVD-GPPQ/SW0NX-GPPQ のデバイスモードで作成します。

②データ作成後は、SW0IVD-GPPQ/SW0NX-GPPQ の PC メニュー内の
”書込”により STOP 中の Q4ARCPU に書き込んでください。

書込み後は、CPU の RUN/STOP スイッチでリセットしてください。

(2)二重化システムでトラッキングを行う場合、デバイス SB/SW20~1FF はトラッキングを実行しないでください。

トラッキングを実行すると動作を保証できなくなります。

(3)二重化システムをセパレートモードで使用した場合、次の点に注意してください。

①セパレートモードで制御中に、制御系の Q4ARCPU がエラーなどによりダウンすると制御は停止します。このときに、セパレートモードをバックアップモードに切換えないでください。切換えを実行しても制御は正常に継続しません。

②セパレートモード中に制御系、待機系の両方を電源 OFF した場合、次に電源 ON するときは、電源 OFF するときに制御系だった系から行ってください。待機系を電源 ON にすると、制御は実行しません。

(4)二重化システム時にエラーメッセージ「PRG. VERIFY ERR.」を表示した場合、次の手順でファイルの不一致部分を確認してください。

・特殊レジスタの SD5~12(共通情報)でファイル名を確認します。

・確認したファイルを PC 照合して、不一致部分を確認します。

(5)二重化システム時に A 系, B 系とも停止エラーになった場合, 増設ベース上のシリアルコミュニケーションユニット, Ethernet ユニットなどのインテリジェント特殊機能ユニットから Q4ARCPU へのアクセスはできません。

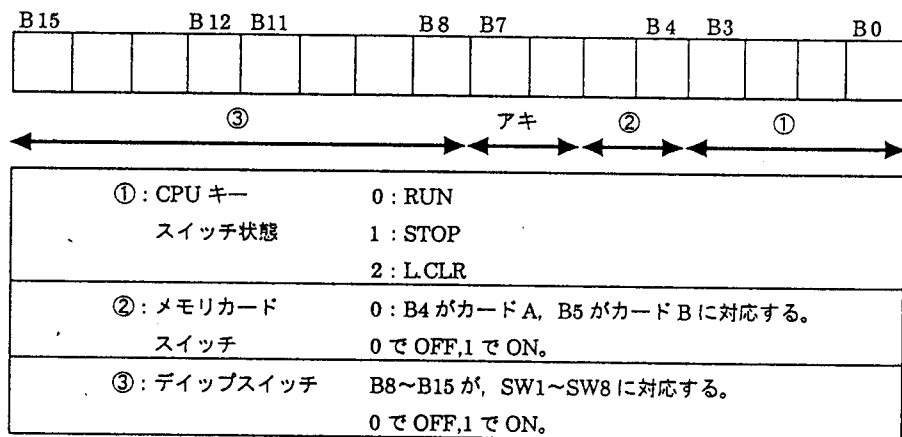
上記の状態の時に, シリアルコミュニケーションユニット経由で SW□IVD/NX-GPPQ から CPU 交信を行う場合, Q4ARCPU とは交信できませんので注意してください。

(6)二重化システム時にメモ리카ードの EEPROM をフォーマットする場合, 動作モードをセパレートモードにして, CPU を STOP にしてからメモ리카ードをフォーマットしてください。動作モードをバックアップモードにしてフォーマットを行うと, トラッキングエラーが発生します。

(7)シーケンサシステムに無停電電源装置を接続する場合には, 電圧歪率が 5%以下の常時インバータ給電方式の無停電電源装置と接続してください。

(8)特殊レジスタ SD200 (内容: CPU スイッチ状態) の記載内容が誤っていたので訂正いたします。

<誤>



<正>→下線部分

